

# 平成21年度 川崎市北部リハビリテーションセンターの管理運営に対する評価について

## 1 指定管理者

(1) 指定管理者	麻生区内複合福祉施設共同事業体 <ul style="list-style-type: none"> <li>・百合丘障害者センター、百合丘日中活動センター                      …社会福祉法人川崎市社会福祉事業団(川崎市中原区小杉町3-245)</li> <li>・百合丘地域生活支援センター                      …特定非営利活動法人たま・あさお精神保健福祉をすすめる会                      (川崎市多摩区登戸2998)</li> </ul>
(2) 指定期間	平成20年4月1日 ~ 平成25年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅リハビリテーションサービス事業</li> <li>・生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援に関する業務</li> <li>・相談支援</li> <li>・地域活動支援センター業務</li> <li>・市民相互の交流を促進するために施設を利用に供すること。</li> <li>・施設の利用契約に関する業務</li> <li>・管理施設等の維持管理に関する業務</li> <li>・利用者意見の把握及び事業への反映に関すること。等</li> </ul>

## 2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成21年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持、管理に関する業務	効率的に維持・管理するため、各施設ごとでなく、全館一括管理を行っている。清掃・警備等建物管理や給食・自動車運転等事業運営に係る一部業務については、専門業者に委託している。	全館一括管理や一部業務を外部委託することによって、効率的かつ適切に管理運営されていることは評価できる。
② 職員配置及び研修の状況	<p>《職員配置》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者センター                              在宅支援室長1(館長兼)、事務員1(兼)支援員1、理学療法士1、作業療法士2、臨床心理士1、医師6(非常勤)</li> <li>・日中活動センター                              施設長1、看護師1、支援員9、嘱託医1</li> <li>・地域生活支援センター                              精神保健福祉士4(うち施設長1)、作業療法士1、保健師1</li> </ul> <p>※緊急時等の連絡体制として、「休日及び夜間緊急連絡網」を整備した。</p> <p>《内部研修》21回(参加人数計159人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会福祉施設における人権を考える」</li> <li>・「ピアサポートによる電話相談と退院促進事業」</li> <li>・PGHフォローアップ研修 等</li> </ul> <p>《外部研修》79回(参加人数計126人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高次脳機能障害研修会</li> <li>・神奈川リハビリテーション研究会</li> <li>・障害者就労支援人材育成研修</li> <li>・川崎市ガイドヘルパー研修 等</li> </ul> <p>※このほか、市と協力して、高次脳機能障害者の支援者向け研修を年間を通して5回開催し、講師を派遣した。</p>	<p>利用者サービスの低下を招くことがないように、引き続き適正な職員配置に努めること。</p> <p>研修については、内部研修、外部研修の積極的な参加のほか、高次脳機能障害の研修会を開催するなど、資質向上に努めていることは評価できる。</p>

③ 関係機関との連携や地域とのつながり	保健福祉センターや地域自立支援協議会等、関係機関との密接な連携の下で事業運営を行った。また、地域の町会や自治会、近隣の学校等、諸団体の祭事等に参加、協力することで施設運営の理解と協力を求めた。	今後も引き続き、積極的に地域や関係機関との交流を図り、ボランティアの受入れ、育成等にも努めること。
④ 利用者の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動センターにおいては、家族との連携を図り、看護師を中心とした日々の健康観察や必要に応じてバイタルチェックなどを行った。また、月1回の嘱託医による健康相談や年2回の健康診断等を通じ、疾病予防や健康維持に努めた。</li> <li>・地域生活支援センターにおいては、全体ミーティングで疾病予防の指導を行い、健康維持に努め、個別相談を実施した。</li> <li>・感染症対策については、毎月開催している調整部会において、全館統一した対応を検討し、予防に向けた取組みを実施した。</li> </ul>	家族や医療機関等と連携した利用者への健康管理及び館全体として感染症予防に取り組んでいることは、評価できる。
⑤ 安全管理への取り組み	<p>利用者の安心や安全を確保する事故防止策を中心とした、危機管理体制の確立を図るとともに、発生した事故への対応を迅速かつ適切に行うための要領を定めている。事故が発生したときは、要領に沿って行動し、各施設の枠を越えた館全体に係る場合でも、運営調整部会等で各施設が連携をとって検証し、再発防止に努めている。また、「ヒヤリ・ハット報告書」による報告を勧奨し、貴重な事例として事故防止、処遇改善に活用した。</p> <p>事故件数 16件(うち受診1件)</p>	今後も日ごろから、危機管理意識を高め、必要な対策を講ずること。
(2) 利用状況		
① 利用状況	<p>《障害者センター》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 194件</li> <li>・在宅リハ評価件数 462件</li> </ul> <p>《日中活動センター》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・契約者数 80人(定員56人)</li> <li> <ul style="list-style-type: none"> <li>就労移行支援 18人(定員20人)</li> <li>就労継続支援B 25人(定員20人)</li> <li>生活介護 13人(定員10人)</li> <li>生活訓練 24人(定員6人)</li> </ul> </li> <li>・授産作業売上高 818,359円</li> <li>・入浴介助延べ件数 99件</li> <li>・送迎延べ回数 4,303回 (片道1回としてカウント)</li> </ul> <p>《地域生活支援センター》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援活動件数 4,644件</li> <li>・センター利用登録者数 352人 (男196人、女156人)</li> <li>・センター延べ利用者数 8,105人</li> <li>・会議室延べ利用者数 364人 (稼働率11%)</li> </ul>	就労移行支援については、定員を充足しておらず、今後も受け入れの取り組みに努めること。また、貸館事業についても、周知、広報等に努め、稼働率の向上に努めること。

<p>② 利用者支援</p>	<p>《障害者センター》          障害種別、年齢を問わず、リハビリテーションや介護等に係る相談に応じ、2次相談だけでなく、1次相談場所としても機能している。補装具外来月4回、座位保持装置外来月1回。その他、高次脳機能障害に係る研修会を開催したほか、神奈川リハビリテーション病院等との高次脳機能障害連絡会を定期的に開催し、情報交換や事例検討、神奈川県における支援の方向性の確認などを行った。</p> <p>《日中活動センター》          障害・年齢ともさまざまな利用者のニーズに対応するため、相談からサービス利用までのマニュアルを作成。他機関との連携を強化し、アセスメントを慎重に行った上で、利用者個々に応じた就労支援や生活能力向上支援を行った。</p> <p>《地域生活支援センター》          複数の関係機関との連携を図りつつ、複合的、長期的な支援の必要な場合には個別にケアマネジメント契約を結ぶなど、地域に暮らす精神障害者の日常生活に係る様々な相談・支援を行った。また、ふれあい交流やパソコン、手芸などのプログラム講師として、年間175人のボランティアの参加を得た。</p>	<p>各施設とも、積極的に関係機関と連携し、利用者の状況に応じた支援を行っていることは、評価できる。また、障害者センターでの高次脳機能障害の研修会開催や地域生活支援センターでのボランティア活動受け入れ等の交流活動を行っていることは評価できる。</p>																																		
<p>③ 給食の提供</p>	<p>障害特性によって、半日のみの利用者や疾病によって給食の提供が困難な利用者を除き、希望者に対して適温給食を提供した。          食事提供延べ件数 9,194件          (日中活動センター)</p>	<p>引き続き利用者の個別状況に基づき、その嗜好等にも配慮した給食の提供に努めること。</p>																																		
<p>(3) 収支状況</p> <p>① 収支状況</p>	<p>《障害者センター》</p> <table border="1" data-bbox="550 1272 991 1563"> <tr><td>収入</td><td>61,234,000 円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>60,614,000 円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>620,000 円</td></tr> <tr><td>支出</td><td>54,094,400 円</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>51,389,000 円</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>216,120 円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td>2,447,280 円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>42,000 円</td></tr> <tr><td>差額</td><td>7,139,600 円</td></tr> </table> <p>《地域生活支援センター》</p> <table border="1" data-bbox="550 1585 991 1843"> <tr><td>収入</td><td>42,834,469 円</td></tr> <tr><td>会議室利用料</td><td>222,740 円</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>41,098,000 円</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1,513,729 円</td></tr> <tr><td>支出</td><td>39,973,267 円</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>30,568,807 円</td></tr> <tr><td>事業費・管理費</td><td>9,404,460 円</td></tr> <tr><td>差額</td><td>2,861,202 円</td></tr> </table> <p>全体として、収入のうち市からの委託料が98%。また、支出のうち人件費が87%となっている。          ※日中活動センターについては、すべて自立支援給付費等で賄う独立採算。なお、全館管理業務は、委託料で支弁している。</p>	収入	61,234,000 円	委託料	60,614,000 円	その他	620,000 円	支出	54,094,400 円	人件費	51,389,000 円	事業費	216,120 円	事務費	2,447,280 円	その他	42,000 円	差額	7,139,600 円	収入	42,834,469 円	会議室利用料	222,740 円	委託料	41,098,000 円	その他	1,513,729 円	支出	39,973,267 円	人件費	30,568,807 円	事業費・管理費	9,404,460 円	差額	2,861,202 円	<p>収支はおおむね均衡している。今後もサービス水準の維持・向上を図りつつ、適切な執行に努めること。</p>
収入	61,234,000 円																																			
委託料	60,614,000 円																																			
その他	620,000 円																																			
支出	54,094,400 円																																			
人件費	51,389,000 円																																			
事業費	216,120 円																																			
事務費	2,447,280 円																																			
その他	42,000 円																																			
差額	7,139,600 円																																			
収入	42,834,469 円																																			
会議室利用料	222,740 円																																			
委託料	41,098,000 円																																			
その他	1,513,729 円																																			
支出	39,973,267 円																																			
人件費	30,568,807 円																																			
事業費・管理費	9,404,460 円																																			
差額	2,861,202 円																																			

<p>(4) その他</p> <p>① 利用者からの要望・苦情等への対応</p>	<p>苦情受付窓口を常設し、受付担当者と苦情解決責任者を配置した。要望、苦情が発生した場合は、内容を速やかに確認し、状況に応じた適切な処理を行った。また、日中活動センター及び障害者センター在宅支援室の主任以上職員の参加による調整委員会において、苦情等の対応の協議、検証を行った。</p>	<p>苦情等について、協議、検証を行い、よりよい施設づくりに取り組んでいる姿勢は、評価できる。今後も受付体制を機能させ、適切な対応を図ること。</p>
<p>② 個人情報の保護</p>	<p>法人内の個人情報保護要綱等に従い、個人情報の適正な保護に努めた。個人情報の収集等に当たっては、利用目的を特定の上、本人の同意を得ることを原則としている。</p>	<p>今後も個人情報の適正な取扱いに努めること。</p>

### 3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

就労支援センターが平成21年4月から事業を開始しており、多くの調整が必要となったが、運営調整部会の定期的な開催などによって、協力、連携し、全体として適切に行われている。本市の地域リハビリテーションシステム機構のさきがけであり、行政直営の障害者センターが同居するなど先例のない中、体系も構築され、運営も軌道に乗っている。サービスについても、障害種別、年齢等を問わず、積極的に地域に暮らす全ての対象者に対し、包括的な専門性の高い支援に取り組んでいることは、評価できる。

### 4 平成22年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

今後も引き続き、複合施設の一体となった運営のため、運営調整部会を定期的に開催し、協力、連携の強化に努めること。  
 また、軌道に乗せた各事業の拡充を図るとともに、地域に開かれた施設とするため、地域住民等との更なる交流に努め、引き続き利用者を主体とした質の高いサービスの提供に努めること。